

## 特別賞

### 環境問題について

御成門小学校 富田 理耶

今、地球温暖化が問題になっています。地球温暖化とは、大気汚染や森林破壊などによって、大気中に二酸化炭素などの気体が増え、地球全体の温度が高くなることです。それは、私たち人間が不自由無く生活しているからです。

なぜ森林破壊が関係しているかというと、アジア諸国を例に挙げてみると一つ目は、輸入のための木材を伐採し、それを運ぶための林道を建設することも必要となるので、大規模な破壊になります。二つ目は、農地開発です。高い収入が得られる「アブラヤシ」の大規模農園を作るために、広い範囲にわたる熱帯林の焼き払いが行われています。また、エビの養殖で池を作るために、マングローブの林も減ってきています。それにより、空気中の二酸化炭素を酸素にする働きがある森林が破壊され、温暖化につながるので、私は、農園や養殖よりも、地球を第一に考えた方がいいと思います。

世界の陸地の四分の一は森林です。豊かな森林は酸素を作り、水を蓄え、土を作ります。しかし、その森林もあと百年もすれば、無くなってしまうと言われています。

森林は沢山の水を樹木や土に蓄えていて、その水が蒸発して雨となるため、蓄えていた水が減少して、雨の量が減るといった気候変動を招いてしまいます。そして、水を蓄えられない土になってしまうと、一旦大雨が降った場合、雨が森林に吸収されず、流れて洪水になりやすくなります。それと同時に、栄養が豊富な土が雨と一緒に流され、森林環境が破壊されてしまいます。すると、新たな森林が育たなくなるといってしまいます。

日本は、自国の森林伐採をしない代わりに、価格の安い他国の森林伐採をしています。森林伐採をしないために出来る事は、使い捨ての割り箸をやめる、紙の使用量を減らす、古紙をしっかりとリサイクルする、森林を増やす運動に積極的に取り組む、等があります。

小さい事でも、一人一人が心がけ、何もしないのではなく、まず行動することが、大事だと思います。一度破壊された森林は、元に戻すのに、何十年もかかるのが事実だという事をみんなが知って、協力するべきだと思います。